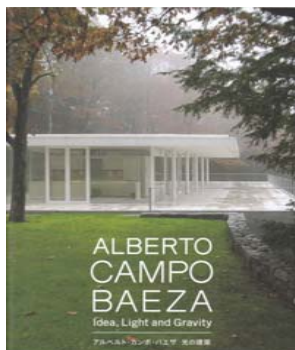


* 心に残るこの一冊 *

「アルベルト・カンポ・バエザ 光の建築」

図書館広報(第3号)



著 者：アルベルト・カンポ・バエザ
三好隆之／訳
発行者：遠藤信行
発行所：TOTO 出版
値 格：2800 円（税別）

アルベルト・カンポ・バエザは、現代スペインの代表的建築家であり、建築の主要な要素は「概念」「光」「重力」と主張する。

バエザの建築はその表現方法が簡潔なスタイルであることによっても知られている。特に、バエザは建築における「光」にかかわる概念や微妙な差異を深く探求し、自然の光を積極的に取り入れ、空間に緊張感を与えたり、和ませたり、そこで生活する人々や働く人々に感動を与えている。窓やスリットから取り入れられた光は、空間を貫き太陽の移動に従って、東に見る青く澄んだ「朝の陽射し」から南西へと移動し、西に見る夕暮れ時のあたたかく黄金色の「光」に変わり、建築に時間性をもたらし、ドラマティックな効果を生み出している。「利用者によって、拡張されうる機能をすべて満足に取り入れ人々の役に立つだけでなく、人の心を揺り動かし、幸せに生き、働ける建築をつくりたい。」というバエザの設計姿勢は、最新鋭の機械設備により室内環境をコントロールし、四六時中均一な室内環境を追求している現代建築に一石を投じている。住宅、託児所、オフィス、学校、美術館等々のバエザの作品を写真とスケッチを通し

語っている著書は原文と翻訳文を併記し、「建築」について分かりやすく論じているので、建築を学ぶ学生のみならず、他学科の学生にも原書を読む楽しみになる。

（記：稲垣）

—図書館利用法—

色々な事項が調べられます。

- △ 調べもの—コンピュータ、辞書、事典、百科事典、etc.
- △ 人物—人名事典、etc.
- △ 新聞—3か月分はそのものがあります。（日刊5誌）
過去の記事＝聞蔵Ⅱビジュアルで調べられます。
- △ 論文—紀要、CiNii、etc.
- △ 統計—統計インデックス、日本国勢図会、etc.

* NDC ってなーんだ？

NDC とは、日本十進分類法といって、図書を番号順に並べる方法を系統的に作ったものです。

001～999 の順で並んでいます。自分の研究をしている分野の番号を暗記していると、図書館に来館して、その資料が早く探せます。

例えば、140 番代は、心理学、210 番代は、日本の歴史、360 番代は、社会学、490 番代は、医学、590 番代は、生活・料理、690 番代は、通信、760 番代は、音楽、830 番代は、英語、910 番代は、日本文学などです。

